

庫裡くりの建設に向けて

檀家総代表 〇〇〇〇

檀信徒の皆様には、日頃当護持会の運営にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度の庫裡建設の話は、約十年前から出ておりました。雨漏りや風雪の吹込み、水の濁り等の問題が生じて、その度に修繕を繰り返して参りましたが、築八十年の戦前の建物でもあり、建て直した方がいいのではとの話が総代会で出ておりました。

寺は住職個人の私有財産ではありません。また、庫裡は寺を運営するための付帯施設であり寺を運営する場所でもあります。檀家の方の接遇や住職が仕事をする場所でもあり、行事等があれば、食事の準備をしたり法要の為の部屋や出席者控室になったりして、個人や家族のプライベート空間とはいえません。

なお、私個人の家も約四十年前に建て替えたのですが、それまでは風雪の入り込む家で、結婚したばかりの家内から、こんなあばら家に来なければよかったなどと言われたことを思い出します。私達檀家は、ご先祖様を祀る菩提寺や御住職を護持する役目があると思います。その為にも、どうか檀家の皆様方のご意見を取り入れながら進めたく、ご理解ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

懐かしの写真 No. 6

今回は、平成16年～17年頃の様子を掲載致します。



無縁塔は、以前は車庫の西側にありました。



平成16年11月17日に移動し南側の田んぼとつながりました。



12月3日、大日堂の西側の現在地に移転完了しました。



消雪道路の水が冬季になると湧水するため、井戸を深くボーリングし直しました。

(平成17年3月30日撮影)



昭和63年米沢市の文化財、平成8年山形県有形文化財に指定された南北朝時代の大日如来坐像ですが、修復の為の意見書を付ける為、その道の権威の先生に調査鑑定をしてもらいました。(紆余曲折を経て、ようやく平成30年度に保存修理が実現しました。)